イーマーンの基幹 - ⑤最後の日への信仰
預言者たちの水辺

﴿الحوض﴾

[日本語– Japanese – ياباني]

ムハンマド・イブラーヒーム・アッ＝トゥワイジュリー

翻訳 ： サイード佐藤

校閲 ： ファーティマ佐藤

2007 - 1428

« باللغة اليابانية »

محمد بن إبراهيم التويجري

ترجمة: سعيد ساتو

مراجعة: فاطمة ساتو

2007 - 1428

islamhouse.com

預言者たちの水辺

● 偉大かつ荘厳なるアッラーは全ての預言者に、水を飲むための水辺を 1 箇所授けられました。そして預言者ムハンマド（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）の水辺がその中で最も偉大かつ美味であり、審判の日に最も沢山の人が集まってくる場所なのです。

● **預言者ムハンマド（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）の水辺の特徴：**

1－アブドッラー・ブン・アムル（彼らにアッラーのご満悦あれ）は言いました：「預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：“私の水辺はその距離が 1 月の行程ほどもあり、その水は乳よりも白い。またその香りは麝香よりも芳しく、そのひしゃくは天の星々のようである。そしてそこで飲んだ者は、以後決して喉を乾かせることがない。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[1]）

2－アナス・ブン・マーリク（彼にアッラーのご満悦あれ）によればアッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）はこう言いました：「私の水辺の大きさは、アイラ（シリアの 1 都市）とイエメンのサヌアーゥほどもある。そしてそこには天の星の数ほどのひしゃくがある。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[2]）

● **水辺から放逐される者：**

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によればアッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「審判の日、何人かの*サハーバ*（教友）が私のもとにやって来るが、水辺からは遠ざけられる。それで私は言う：“主よ、私の*サハーバ*（教友）が！”すると（アッラーは）仰られる：“あなたは彼らがあなたの死後、何をしたのか知らないのだ。彼らは実にひどい背教の仕方でイスラームを棄てたのだ。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[3]）

[1] サヒーフ・アル＝ブハーリー（6579）、サヒーフ・ムスリム（2292）。文章はムスリムのもの。
[2] サヒーフ・アル＝ブハーリー（6580）、サヒーフ・ムスリム（2303）。文章はアル＝ブハーリーのもの。
[3] サヒーフ・アル＝ブハーリー（6585）、サヒーフ・ムスリム（2290・2291）。文章はアル＝ブハーリーのもの。